

日タイEPAに基づく原産地証明書データ交換

<e-COご利用のポイント>

財務省関税局

令和7年5月

e-COのご利用にあたって

e-CO（電子原産地証明書）とは

- e-COでは、輸出国で発給された原産地証明書が、NACCSに直接送信されるため、**輸出入者等、事業者間における原産地証明書の受け渡しが一層効率的**になります。
- 輸入申告にあたり、**e-coのまま、税関に提出することが可能**になります。（紙の原産地証明書のようにカラスキャンを行う必要はありません。）
- e-COは、輸出国発給機関からNACCSに直接送信されるため、**e-coの真正性が確保されています**。
- 原産地証明書に係る貨物を**分割通関する場合、e-coを用いて円滑に処理することが可能**になります。（紙の原産地証明書を通関官署に取り回す必要がなくなります。）

e-COを利用できる方

日タイEPAに基づき、EPA税率を適用しようとする輸入貨物の**通関手続をNACCSで行う輸入者又は通関業者の方であって、当該EPA税率の適用にあたりe-COの利用を希望する方がご利用いただけます**。事前申込み等は必要ありません。

※ e-COのご利用にあたっては、本資料のほか、『日タイ経済連携協定に基づく原産地証明書データ交換におけるe-COの利用方法』に取扱いの詳細を掲載しております。併せてご確認の上、ご利用願います。

e-COの利用方法：ステップ①（e-COの発給）

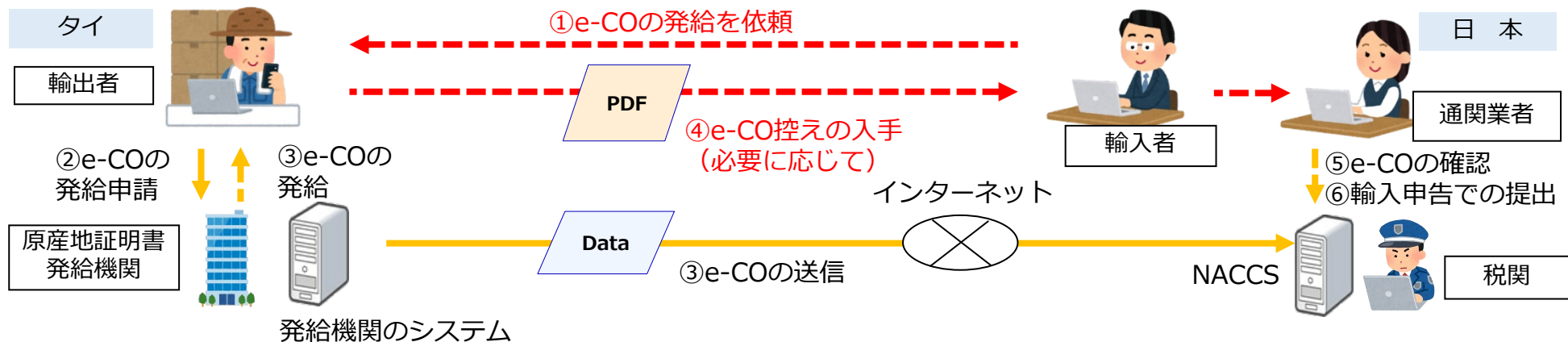
タイの輸出者へのe-COの発給依頼

タイ発給機関（商務省）において、**日本向けe-COの発給申請の受付**をしています。日本での輸入申告においてe-COの利用を希望される場合、輸入者等において貿易取引相手である**タイの輸出者**に**e-COの発給手続を依頼**してください。

NACCSでe-COを利用するための準備

NACCSにおいてe-COを利用するためには、あらかじめ、発給されたe-COについて、以下のいずれかの方法で、その内容を確認する必要があります。

- ・ 輸出者にその内容を確認する方法、又は
- ・ e-COの控え（輸出者がタイ発給機関のシステムからPDFファイルによりダウンロードすることができます）を輸出者から入手して確認する方法



e-COの利用方法：ステップ②（e-COの確認その1）

タイ発給機関が発給したe-COはNACCSに直接送信されます。NACCSが受信したe-COを輸入申告に使用する際には、輸入者等において事前にNACCSでe-COの内容を確認してください。

NACCSでのe-COの確認方法

NACCSで受信したe-COの内容は、「**原産地証明書情報内容照会（IOV）**」業務で**以下のデータ項目を入力**することによって照会することができます。

【方法1】「**C／O番号**」にe-COの**原産地証明書番号（Reference No.）**を、
「**e C／Oキー**」にe-COの**1品目目のインボイス番号（Invoice number）**を入力

【方法2】「**N－C／O番号**」を入力

※「N－C／O番号」はNACCSでe-COを受信したときに付与される番号であり、IOV業務で照会したe-COの情報から確認することができます。そのため、初回は必ず【方法1】により照会する必要があります。

IOV業務（入力画面イメージ）

照会区分＊	
N－C／O番号	202209071234ABCD
C／O番号	
e C／Oキー	
国コード	
申告等番号	
欄番号	

e-CO控え（イメージ）

1. Goods consigned from (Exporter's business name, address, country)	Reference No. 原産地証明書番号
2. Goods consigned to (Consignee's name, address, country)	THE KINGDOM OF THAILAND AND JAPAN FOR AN ECONOMIC PARTNERSHIP CERTIFICATE OF ORIGIN (Combined declaration and certificate) FORM JTEPA Issued in... THAILAND (country)
3. Means of transport and route (as far as known)	4. For official use
8. Origin criterion (see Notes Overleaf)	9. Gross weight or other quantity
10. Number and date of invoice	インボイス番号

※NACCSでのe-COの利用方法の詳細はNACCS掲示板をご参照ください。

<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/etcdoc/eco/index.html>

e-COの利用方法：ステップ②（e-COの確認その2）

IOV業務（照会結果イメージ）

IOV業務ではe-COの情報を帳票形式で出力することもできます。

IOV 原産地証明書情報照会情報

ファイル(F) 表示(V)

共通部 欄部

照会区分 ☐ N-C/O番号 C/O番号

eC/Oキー 国コード 申告等番号

協定名称 ステータス 総欄数

Exporter's name, address and country
(輸出者ID、輸出者名、輸出者住所)

Submission (提出日)

Category code (カテゴリコード)

Issuer Party/Code/Name (発給国コード、発給国名)

Origin Party/Code/Name
(原産国コード、原産国名)

Final destination Party/Code/Name
(最終仕向国コード、最終仕向国名)

Importer's name, address and country
(輸入者ID、輸入者名、輸入者住所)

Means of transport/Code/Name
(輸送手段コード、船名・便名)

Port of loading/Code/Name
(荷送/仕掛港コード、荷送/仕掛港名)

**原産地証明書情報
(共通部)**

IOV 原産地証明書情報照会情報

ファイル(F) 表示(V)

共通部 欄部

Item number (欄番号) HS code (HS番号) Number and kind of packages (梱包種類)

Itemised category code (品目カテゴリコード) Quantity (数量)

Gross weight (重量 (グロス))

Preference criterion (特惠基準)

**原産地証明書情報
(欄部)**

内取り情報

残存量 内取り方法

申告等番号 輸入申告年月日 内取量 確認状態 申告官署 輸入許可年月日

備考

**内取り情報
(欄部)**

※NACCSでのe-COの利用方法の詳細はNACCS掲示板をご参照ください。

<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/etcdoc/eco/index.html>

e-COの利用方法：ステップ③（輸入申告時のe-COの提出その1）

輸入申告におけるe-COの具体的な提出方法

日タイEPAに基づくEPA税率を適用しようとする貨物の**輸入申告（予備申告を行う場合には予備申告）の際に**、以下のいずれかの方法で、**e-COを提出してください。**

【e-COの提出方法】

「輸入申告事項登録（IDA）」業務において輸入承認証等欄に以下の①又は②のいずれかを入力したうえで輸入申告を行ってください。

（方法1）**eC／Oキー**（e-COの1品目目のインボイス番号）及び**C／O番号**（原産地証明書番号）を入力

※ 必ずeC／Oキー、C／O番号の順に2欄連続して入力してください。

輸入承認証等識別	輸入承認証番号等
GENS	1品目目のインボイス番号（eC／Oキー）
GENS	原産地証明書番号（C／O番号）

（方法2）**N-C／O番号**を入力

※ 原則、N-C／O番号を使用するか否かは自由ですが、①のeC／Oキー又はC／O番号が20桁を超える場合等は輸入承認証番号等欄に入力できないため、②のN-C／O番号を入力する必要があります。

輸入承認証等識別	輸入承認証番号等
GENN	N-C／O番号

e-COの利用方法：ステップ③（輸入申告時のe-COの提出その2）

IDA業務入力イメージ（輸入承認証等欄）

（方法1）

eC/Oキー①			C/O番号①			eC/Oキー②			
輸入承認証等	1	GENS	INV00001111	2	GENS	TJ2022-000001	3	GENS	INV00002222
	4	GENS	TJ2022-000002	5	TASY	1234567891	6		
	7		C/O番号②	8			9		

又は

（方法2）

N-C/O番号①			N-C/O番号②						
輸入承認証等	1	GENN	202209071234ABCD	2	GENN	202209075678EFGH	3	TASY	1234567891
	4			5			6		
	7			8			9		

注1 IDA業務で入力したeC/Oキー及びC/O番号の組合せ又はN-C/O番号に該当するe-COの情報がNACCSに登録されていない場合には、エラーとなりIDA業務を行うことができません。

注2 原産地証明書識別コードは、e-COを使用する場合も通常の場合と同じ「THT4」（日タイEPA・第三者証明制度）を入力してください。

注3 輸入申告において入力漏れ、入力誤り等があった場合には、速やかに申告先税関にご相談下さい。

※ NACCSでのe-COの利用方法の詳細はNACCS掲示板をご参照ください。

<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/etcdoc/eco/index.html>

参考情報・お問い合わせ先

■ 参考情報

- 原産地証明書のデータ交換について（税関HP/原産地規則ポータル）
<https://www.customs.go.jp/roo/procedure/data/news.html>
- 輸入申告に係る原産地証明書のデータ交換 関係資料（NACCS掲示板）
<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/etcdoc/eco/index.html>

■ お問い合わせ先

- NACCSの業務仕様等に関するお問合せ
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社（NACCSセンター）
ヘルプデスク お問い合わせWebフォーム：
<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/inquiry/nwewebqa>
電話：0120-794-550 又は 03-6628-6270
- 原産地規則・関連する税関手続に関するお問合わせ
各税関の原産地調査官 <https://www.customs.go.jp/question2.htm#c>

※日本からの輸出に関するe-COの利用については、発給システムに関するご質問は日本商工会議所へ、その他の運用に関するご質問は経済産業省へお問い合わせください。

（経済産業省ニュースリリース）

https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/boekikanri/gensanchi/JTEPA_eCO.html